

2017年度 苦情・事故状況

<苦情>

日時	内容	検証及び課題
8月	「車1台が通れる程の道路で保育園の駐車場に向かう利用者の車と鉢合わせた際、あたかも優先である様に、強引に進んでくる利用者の運転に困惑している」と地域住民より電話が入る。	利用者に向けて、苦情の内容及び目視やカーブミラーを利用して状況に応じた譲り合いをお願いする旨を、玄関掲示にて周知を図った。

<事故>

日時	内容	結果	検証及び課題
9月	園庭で転倒した際、枕木で鼻を強打する。鼻血と軽度の腫れ。	翌日に腫れが大きくなった為、母の意向により受診。骨に異常はなく、その後腫れが軽減し、回復に向かう。	戸外での活動を増やし、バランスの良い体作りを目指す。また、保育者が子どもの行動を把握し、起こりうる事故の想定をする。
10月	室内保育中に、左腕が痛いと言児が訴える。	受診により左肘亜脱臼と診断。整復処置により回復。	本児が室内で寝転びながら遊んでいた際、腕に負担がかかり、亜脱臼になったと推測される。園児が痛みを訴える際は、十分に様子観察を行い、状況に応じて受診する。
11月	保育者が本児を引きとめようと手首を持った際、園児の右肘が抜ける。	受診により、右肘が抜けていると診断。整復処置により回復。	保育者が本児を引きとめようと軽く手首を持った際、本児の体勢が反転したことで肘が抜けたと考えられる。子どもの手や腕を持つ・引くなどの行為は危険である為、行為を慎む。